



埼玉県立
本庄高等学校

美術部

← 受付・事務室
この場では、携帯電話
の使用を禁止いたします。
※ 本校は完全禁煙校です。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

3年 赤池 礼央



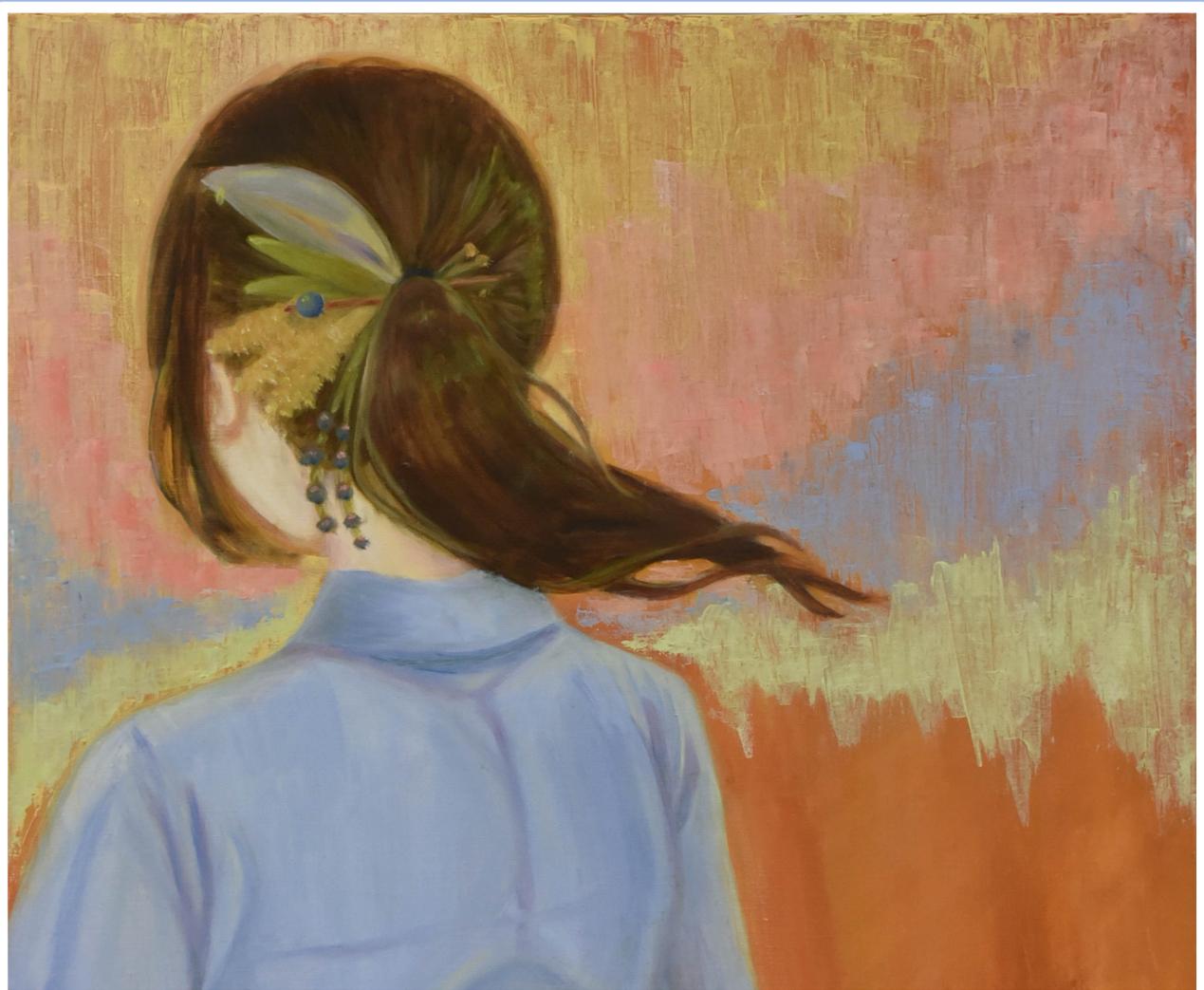
escape

この作品は、理想と現実をイメージし、理想をアニメ調の可愛らしい絵で表現し、現実を暗く重い雰囲気の中で表現しました。涙があふれそうな感じや、血走った目で現実の辛さを表しました。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

3年 松崎 由衣



ミライ

この「ミライ」という作品は、未来を見つめている自分を表現しています。私にとって高校生として最後の作品となるので、今の自分が出るすべて、そして表現したいものを詰め込みました。どのような将来が待っているかわかりませんが、温かい場所に向かえるようにという願望も込めています。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

3年 高山真嬉



泡沫

海月や泡を題名の通り儂く美しく表現するため、同系色や淡い色を多く使って彩色しました。白ベースの絵の具の飛沫を飛ばして、水中の細かい泡を表現しました。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

3年 宮山 亮太



清純と不浄

この絵は、赤子を清純、つまり無垢なるものの象徴として、蛸を不浄、つまり悪しきものの象徴として描いています。赤子も蛸も水に浸っています。それは、切り離せない繋がりがあふれることを暗喩しています。私は、赤子をモチーフとして描くことが多いのですが、それは、赤子が精神的に白く、不可侵的な神聖さ、他を知らぬ純粹さなどを持ち得るからです。また、肌を好んで描いており、こだわりを持ち描写しています。筆致を残しながら、その上から色を重ねることで、より複雑な色味を出すようにしています。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

2年 平野 理緒



新たな一歩

私は、自身が通う本庄高校の校舎を描きました。

この絵を描くにあたり一番意識していたのは、絵の内に奥行きを出すことです。そのため、木の影に様々な色を使ったり、濃淡をつけたりして描きこみました。

この光景は私が本庄高校に入学したとき一番最初に目についた光景で強く印象に残っていたので、今回描くことに決め、新たな学生生活のスタート地点として希望を込めて「新たな一歩」という題名にしました。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

2年 木村友昭



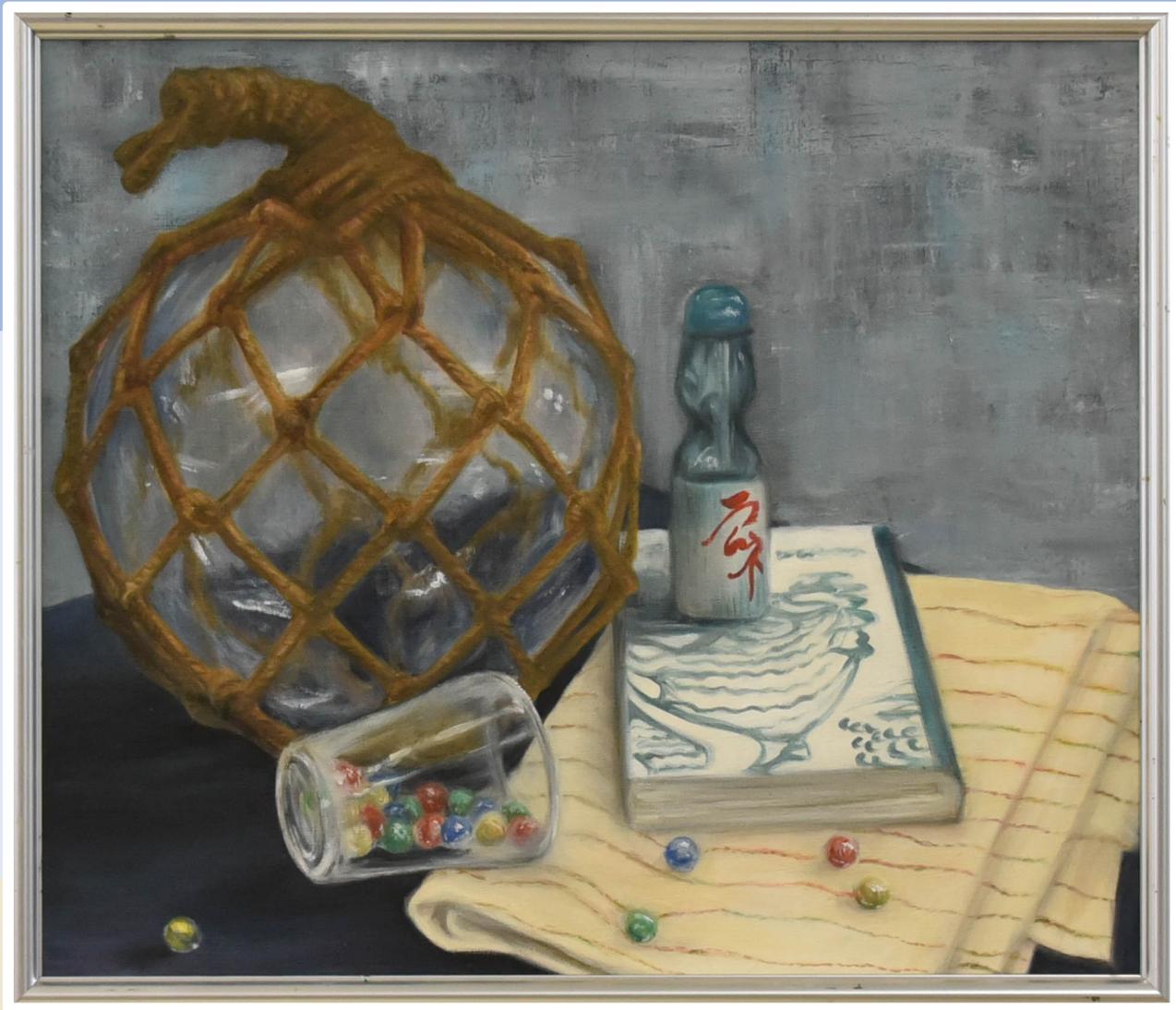
いろいろ

家で飼っている犬を描きました。犬が花を嗅いでいる場面を、犬の純粋な視点を意識して描きました。



埼玉県立
本庄高等学校美術部

1年 岩本 玲奈



梅雨

モチーフは夏らしいものを集め、あえて涼しそうに描くのではなく、グレーな色調で、夏らしさを表現してみました。ガラスや縄、衣といった質感のちがいにもこだわりました。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

1年 関田 周音



10年後

一番目立たせたいブランコを中心に大きく持ってきてきました。公園は年月が経っていくうちに錆びれていくため、少し古くなった感じを出せるようにしました。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

1年 高橋 沙月



果物

立体的で光沢のある絵になるよう頑張りました。初めての作品なので、あまり自信はありませんが、見てもらえると嬉しいです。布のしわや素材の質感の再現にこだわりました。



埼玉県立
本庄高等学校美術部

1年 山本 瑞季



秋の色

初めての作品で思いどおりにいかないところも
多々ありましたが、違和感が少なくなるように最
後まで頑張れたので良かったです。



埼玉県立
本庄高等学校 美術部

1年 佐藤 遙



束縛

目立たせたい真ん中の2つの手は、しわや肌の質感をリアルに再現できるように頑張りました。とくに体がある手は骨の浮き出方や影と光の入れ方などをこだわりました。